

WEB PARK 仮想ホスト設定ガイド

第 3.5 版 2018 年 6 月

【ご注意下さい】

1. 本ガイドに記載している内容の一部又は全部を無断で転記することは禁止します。
2. 本ガイドに記載している内容は、サービス内容の変更に伴い訂正場合があります。また、記載している内容についての修正のため、予告なしに変更場合があります。
3. 最新の情報は、WEB PARK の WEB ページにてご確認ください。

▼ WEB PARK

<https://www.itc.u-tokyo.ac.jp/education/services/webpark/>

版	更新日	備考
第 1.0 版	2013 年 12 月 13 日	新規作成
第 2.0 版	2014 年 2 月 19 日	ドメイン名とパスワード確認方法、補足を追加
第 3.0 版	2014 年 2 月 26 日	2. DNS へのレコード登録について補足、追加
第 3.1 版	2014 年 3 月 12 日	補足の更新・追加
第 3.2 版	2014 年 8 月 27 日	2. DNS へのレコード登録について補足、追加
第 3.3 版	2016 年 10 月 21 日	パスワード確認方法を更新 リンクを修正
第 3.4 版	2017 年 10 月 5 日	2.1 登録するレコードの内容 DNS サーバ IP アドレスを修正
第 3.5 版	2018 年 6 月	WEB PARK 広報ページの画像、 リンク情報を変更

目次

1. 概要.....	3
2. DNS へのレコード登録.....	4
3. ドメイン設定.....	7
4. 仮想ホストの動作確認.....	14

1. 概要

WEB PARK は、さくらインターネットが提供するレンタルサーバを利用したウェブホスティングサービスです。本ガイドでは WEB PARK での仮想ホストの設定についてご説明いたします。WEB PARK では `webparkNNNN.sakura.ne.jp` と `park.itc.u-tokyo.ac.jp` ドメインにてサイトを公開する設定がデフォルトになりますが、仮想ホスト機能はこれら以外のドメインを使ってサイトを公開するときに便利な機能です。

仮想ホスト機能を使わない場合...

<http://webparkNNNN.sakura.ne.jp/>
<http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/>組織略称



- ・サイトのURLに「sakura.ne.jp」「park.itc.u-tokyo.ac.jp」が入る



- ・単一ドメインしか運用できない



- ・DNS等の設定は不要



仮想ホスト機能を使うと...



- ・取得したドメインのURLでサイトを公開できる



- ・複数ドメイン(マルチサイト)を運用可能



- ・DNS等の設定が必要



<http://elearn.u-tokyo.ac.jp/>



2. DNS へのレコード登録

本ガイドでは、追加する仮想ホスト名の例として `www.vtest01.ecc.u-tokyo.ac.jp` を設定する（つまり、WEB PARK 上に設置した Web サイトを `http://www.vtest01.ecc.u-tokyo.ac.jp/` で参照できるように設定する）こととします。以降、各自が設定する予定の仮想ホスト名に読み替えてください。

仮想ホストでの利用に当たっては、DNS サーバへのレコード登録が必要となります。上位ドメイン(この例では `ecc.u-tokyo.ac.jp`) の DNS 管理者に DNS レコードの設定を依頼してください。登録すべき内容は、仮想ホスト名の利用状況によって異なります。

なお、DNS の管理者（部局のネットワーク担当者）が不明な場合は、部局または組織のネットワーク担当者一覧として以下のサイトをご参照ください。

▼UTNET 部局担当者一覧（学内のみ）

<https://www.nc.u-tokyo.ac.jp/UTnet/HPmake.pl>

【注意】

WEB PARK で仮想ホストを設定していた、または他の Web サーバで運用していたサイトを WEB PARK に移行する場合、DNS の設定を変えると旧サーバ上のサイトをインターネット経由で参照できなくなります。

その場合は `/home/webparkNNNN/www/` 配下の領域に移行対象のサイトを構築してから `http://webparkNNNN.sakura.ne.jp/` にアクセスして動作確認を行い、**最後に DNS の設定切り替えを行う**ことを推奨します。（サイトにアクセス制限を設けたい場合は `.htaccess` の設置などをご検討ください。本ガイドでは `.htaccess` の説明は行いません。）

2.1 登録するレコードの内容

DNS サーバ管理者に NS レコードの登録を依頼してください。

NS レコードとしては、さくらインターネット株式会社が保有する 2 台の DNS サーバのホスト名 ns1.dns.ne.jp (61.211.236.1) 及び ns2.dns.ne.jp (133.167.21.1) を登録します。この例では、DNS 管理者に以下の登録を依頼することになります。

```
www.vtest01    IN    NS    ns1.dns.ne.jp.  
www.vtest01    IN    NS    ns2.dns.ne.jp.
```

※上位ドメインの管理の都合などで、NS レコードの登録を推奨しない場合は、2.1 と同様に A レコードを登録するか、または次の CNAME レコードの登録を依頼してください。

```
www.vtest01    IN    CNAME    webparkNNNN.sakura.ne.jp.
```

仮想ホスト名をメール等の用途でも使っていると、上記の設定ではメールの配送が正しく行われないケースがあります。その場合、推奨ではありませんが 次の「2.1.1 仮想ホスト名を含むホスト名やドメインを他の用途に利用する場合」の設定例を参照してください。

2.1.1 仮想ホスト名をメール等の用途でも使用している場合

以下の 1) または 2) の条件に当てはまる場合は、NS レコードの代わりに A レコードの登録を依頼してください。

1) WEB PARK の仮想ホスト名 (以下の例では www.vtest01.ecc.u-tokyo.ac.jp) と全く同じ名前で、学内組織向けメールサーバ MAILHOSTING (<https://mh.itc.u-tokyo.ac.jp/>) などのメールサーバを運用している場合。

-- 以下の例では user1@www.vtest01.ecc.u-tokyo.ac.jp というメールアドレスで、メールサーバを利用している場合に相当します。

-- 例えば、仮想ホスト名が www.ecc.u-tokyo.ac.jp で、メールアドレスとして利用するのが @ecc.u-tokyo.ac.jp のような場合は、同じ名前でメールサーバを利用していることには当てはまりません。但し、次の 2) の条件に当てはまらないかを注意してください。

2) WEB PARK の仮想ホスト名 (以下の例では www.vtest01.ecc.u-tokyo.ac.jp) を親ドメインとするホスト名(例えば host1.www.vtest01.ecc.u-tokyo.ac.jp や pc2.www.vtest01.ecc.u-tokyo.ac.jp など)を、サーバやパソコンなどの機器に割り当てている場合

A レコードとして登録すべき IP アドレスは、組織ごとに割り当てられた利用サーバ (webparkNNNN.sakura.ne.jp のようなホスト名。NNNN は組織ごとに異なる 4 桁の数字) の IP アドレスです。nslookup などのコマンドを用いて調べた IP アドレスを、A レコードとして登録するよう依頼してください。この例では、仮に webparkNNNN.sakura.ne.jp の IP アドレスが 192.168.1.1 だとすると、DNS 管理者に以下の登録を依頼することになります。

www.vtest01 IN A 192.168.1.1

3. ドメイン設定

まずサーバコントロールパネルにログインします。

▼サーバコントロールパネル

<https://secure.sakura.ad.jp/rscontrol/>

サーバコントロールパネル ログイン

お客さまのドメイン名と、サービスパスワードをご入力ください。

ドメイン名: ①

パスワード: ②

[新コントロールパネル \(β版\) へログイン](#)
[ウェブメール](#) || [パスワードを忘れたときは...](#)

ログインに関するご案内

「ドメイン名」へ入力する値はプランによって異なります。

ユーザ種別	例
初期アカウント	〇〇〇.sakura.ne.jp もしくは 〇〇〇.jp、〇〇〇.com 等、サーバに設定済みのドメイン
追加ユーザ	ユーザ名@〇〇〇.sakura.ne.jp もしくは ユーザ名@〇〇〇.jp、〇〇〇.com 等、サーバに設定済みのドメイン

※ログインできない場合は[FAQ](#)をご確認ください。

- ① ドメイン名: [webparkNNNN.sakura.ne.jp](#)
- ② パスワード: 上記ドメイン名に対応したパスワード

入力が終わったら をクリックしてサーバに接続します。

※[webparkNNNN](#) の”NNNN”は組織ごとに割り当てられる 4 桁の数字になります。各自、割り当てられた数字に読み替えてください。

①②の確認方法については次のページをご参照ください。

◆ドメイン名を確認するには（コントロールパネルにログインできない場合）

さくらインターネットのサーバや、コントロールパネルにログインする場合に必要な情報は利用申請システムで確認できます。ただし、コントロールパネルにログインする際には、以下のとおり、ドメイン名（sakura.ne.jp）を加え入力する必要があります。

▼WEB PARK 利用システムにログインします。

<https://www.itc.u-tokyo.ac.jp/education/services/webpark/apply/>

The screenshot shows the '利用申請システム (各種申請受付)' page. At the top, there are navigation links: 'トップ', 'サービス概要', '利用申込', '広報', and 'FAQ・マニュアル'. Below these is a red box containing '利用申請システム (各種申請受付)' and '問い合わせ'. A blue box lists various application types: '組織名、代表者、支払責任者、SSLの変更の流れ | 連絡担当者、学内便送付先、備考の変更の流れ', '継続申請の流れ | 利用申請システム用アカウントのパスワード変更の流れ', 'WEB PARK 作業用アカウントのパスワードリセットの流れ | 利用中止申請の流れ', and '利用申請システム用 (各種申請) パスワードの再発行 | さくらインターネットへの問い合わせ'. The page is dated '2017年3月1日作成'. A red box with white text says '「既にご利用されている場合はこちら」をクリック'. Below this is a yellow banner for 'WEB PARK 利用申請システム'. A blue box with a right-pointing arrow contains the text '●既にご利用されている場合はこちら (学内限定サイト) 継続申請、各種情報確認・修正、利用中止申請など'. Below the banner, it says '※上記バナーをクリックすると、次のページ（ログイン画面）でパスワードを求められます。' and '利用申請システム用のパスワードがわからない場合は [こちら](#) から再発行申請をしてください'.

「●既にご利用されている場合はこちら」をクリックするとログイン画面が表示されます

WEB PARK 利用申請システム

継続・各種情報変更 ログイン

組織の略称およびパスワードを入力してください。アルファベットの英文字・小文字は区別します。
なお、本利用申請システムは東大内のIPアドレスからしかアクセスできません。

IE (Internet Explorer) ではご利用できません。他のブラウザをご利用ください。

組織の略称
パスワード

[パスワードが不明な場合](#)

「組織の略称」とパスワード（利用申請システム用パスワード）を入力

「組織の略称」「パスワード」を入力して をクリックします。

※「組織の略称」「パスワード（初期パスワード）」は別途学内便にて送付した通知書に記載されています。ご自身で変更したパスワードを忘れた場合は、再発行を依頼してください。

▼利用申請システム用（各種申請）パスワードの再発行

<https://www.itc.u-tokyo.ac.jp/education/services/webpark/apply/page-701/>

「継続・各種情報変更」ページが表示されます。

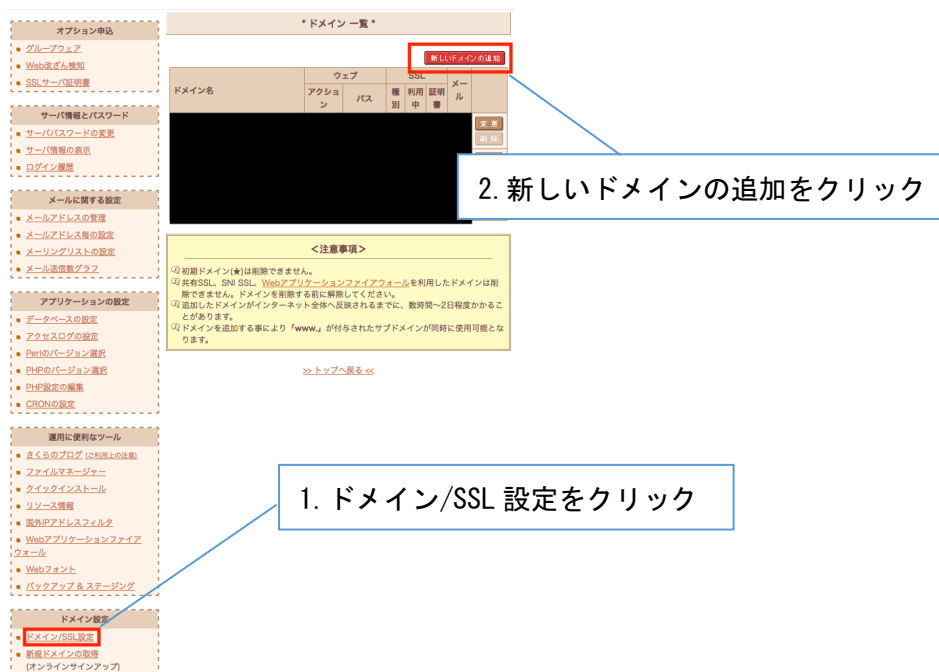
コントロールパネルログイン画面の「ドメイン名」には、「利用サーバ」に記載の情報を入力してください。

ログインに成功するとサーバコントロールパネルのメニュー画面が表示されます。

コントロールパネルトップページ左メニュー「ドメイン設定」カテゴリ内の

ドメイン/SSL 設定 をクリックします。

右側エリアにドメイン一覧が表示されますので **新しいドメインの追加** をクリックしてください。



右側エリアに表示された一覧の中の「5. 他社で取得したドメインを移管せずに使う」カテゴリから **>>ドメインの追加へ進む** をクリックします。



「他社で取得した独自ドメインの追加」カテゴリのドメイン名欄に、追加する仮想ホストのドメイン名 (FQDN) を入力します。(ここでは例として「www.vtest01.ecc.u-tokyo.ac.jp」を追加します)

入力後 **送信する** をクリックします。

確認画面が表示されます。内容が正しいことを確認して **送信する** をクリックします。

これでドメインの追加が完了しました。

【注意】

サーバコントロールパネルで入力する「ドメイン名」は仮想ホスト名の FQDN です。特に www.X.Y.u-tokyo.ac.jp のような仮想ホスト名をお使いの場合に、X.Y.u-tokyo.ac.jp を登録することは推奨しません。www.X.Y.u-tokyo.ac.jp を入力してください。

ドメイン名として X.Y.u-tokyo.ac.jp を登録しても、自動的に www.X.Y.u-tokyo.ac.jp でウェブサーバを利用可能になりますが、それによって user1@X.Y.u-tokyo.ac.jp 宛のメールが既存のメールサーバに届かなくなる、などの大きな問題が生じる可能性があります。X.Y.u-tokyo.ac.jp を登録することで発生する影響を十分判断できない場合は、X.Y.u-tokyo.ac.jp を登録するのはお止めください。

次に仮想ホストへのアクセス時に参照されるディレクトリ（ドキュメントルート）を設定します。

さくらインターネット
サーバコントロールパネル | ホーム | 会員メニュー | マニュアル || ログアウト

お客さま情報
 アカウ webpark [redacted]
 ント:
 初期ド webpark [redacted].sakura.ne.jp
 メイ
 ン:

ディスクの使用量(使用率)
 14.29GB / 100GB (14.29%)

オプション申込

- [グループウェア](#)
- [Web改ざん検知](#)
- [SSLサーバ証明書](#)

サーバ情報とパスワード

- [サーバパスワードの変更](#)
- [サーバ情報の表示](#)
- [ログイン履歴](#)

メールに関する設定

- [メールアドレスの管理](#)
- [メールアドレス毎の設定](#)
- [メーリングリストの設定](#)
- [メール送信数グラフ](#)

ドメインの追加

*** ドメインの追加 - 完了 ***

ドメイン追加 完了

指定されたドメイン [www.vtest01.ecc.u-tokyo.ac.jp](#) の追加が完了しました。DNSサーバの設定に若干時間がかかることもございますので、あらかじめご了承ください。

他社より転入されたドメインで、さくらのネームサーバへ変更する場合は、ドメインWHOIS情報のネームサーバ情報の変更が必要となります。

※他社で取得したドメインを移管せず利用する場合、ドメインWHOIS情報のネームサーバ情報の変更は、ドメインを取得された管理事業者様へご相談ください。

※ネームサーバ情報を変更いたしますと、反映には数時間から48時間程度のお時間が必要となります。反映が完了するまでは一時的にアクセスできない場合がございます。

>> 詳細設定にすすむ <<

>> ドメイン一覧へ戻る <<

>> トップへ戻る <<

>>詳細設定にすすむ<< をクリックしてください。

ドメイン詳細設定画面が開きます。「2. マルチドメインの対象のフォルダをご指定ください」の項目で指定フォルダ欄を入力します。ここには仮想ホストへのアクセス時に参照されるディレクトリを指定します。ここでは例として「/」を入力しています。他の項目はご利用の用途に合わせて設定してください。

入力が完了したら **送信** をクリックします。

The screenshot shows the 'サーバコントロールパネル' (Server Control Panel) with the 'ドメイン設定' (Domain Settings) section selected. The left sidebar contains various menu items like 'お客さま情報', 'オプション申込', and 'メールに関する設定'. The main content area is titled '* ドメイン詳細設定 *' and includes a sub-header '+ www.vtest01.ecc.u-tokyo.ac.jp の使用方法をお選びください'. Under '1. 設定をお選びください', the 'マルチドメインとして使用する (推奨)' option is selected. Below this, the '指定フォルダ' (Specify Folder) field is highlighted with a red box and contains the path '/home/.../www/'. A blue callout box points to the empty space after the slash, with the text '「/」を入力'. Other sections include '2. マルチドメインの対象のフォルダをご指定ください', '3. メール利用をお選びください', and '4. SSLの利用をお選びください'.

「ドメイン詳細設定 完了」という表示が出ます。これでドメインの設定は完了です。
次の章では仮想ホストの動作確認を行います。

4. 仮想ホストの動作確認

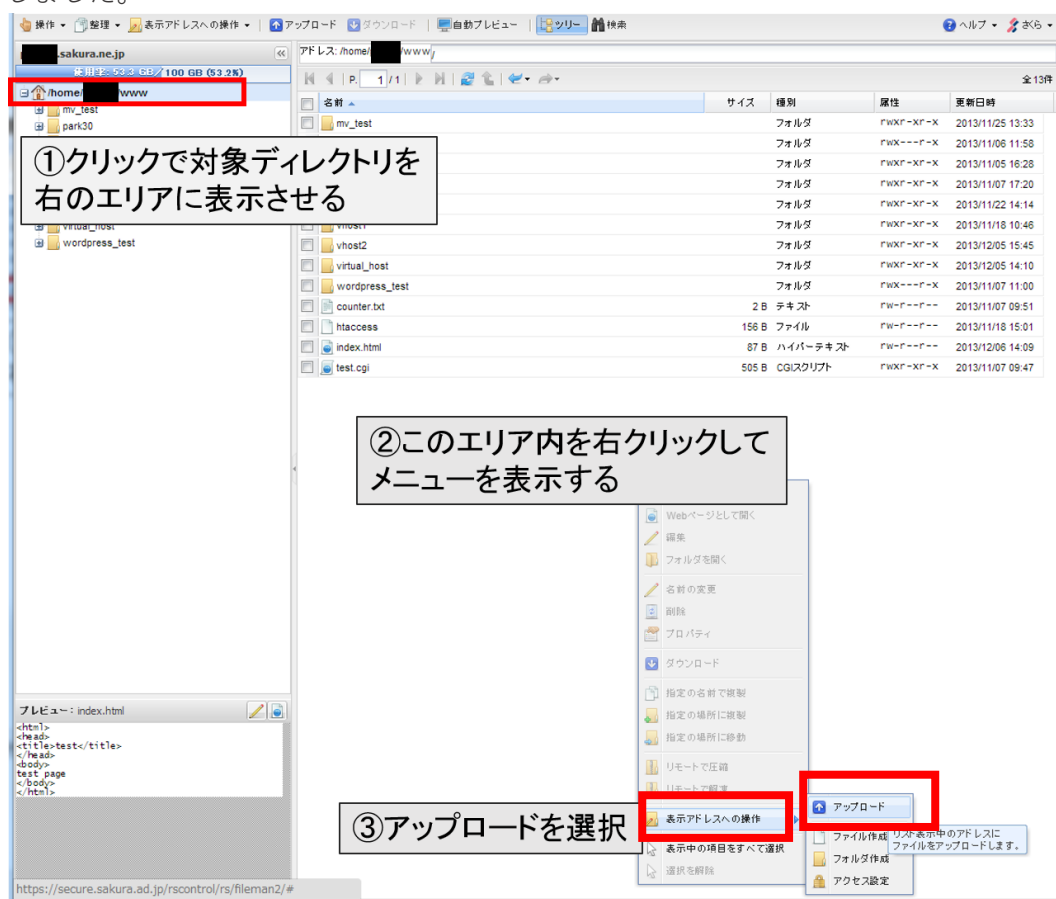
前章でマルチドメインの対象フォルダとして設定したディレクトリ（ドキュメントルート）に html ドキュメントを置いて、ブラウザでアクセスしてみましょう。

ここでは [http://\[設定した仮想ホスト\]/](http://[設定した仮想ホスト]/) というアドレスにアクセスして、設置した Web サイトが表示されることを確認します。

今回の例では `/home/webparkNNNN/www/` を仮想ホスト用のディレクトリ（ドキュメントルート）に設定しているため、`/home/webparkNNNN/www/index.html` を確認用に設置しました。

※webparkNNNN の”NNNN”には各ユーザに割り当てられた 4 桁の数字が入ります

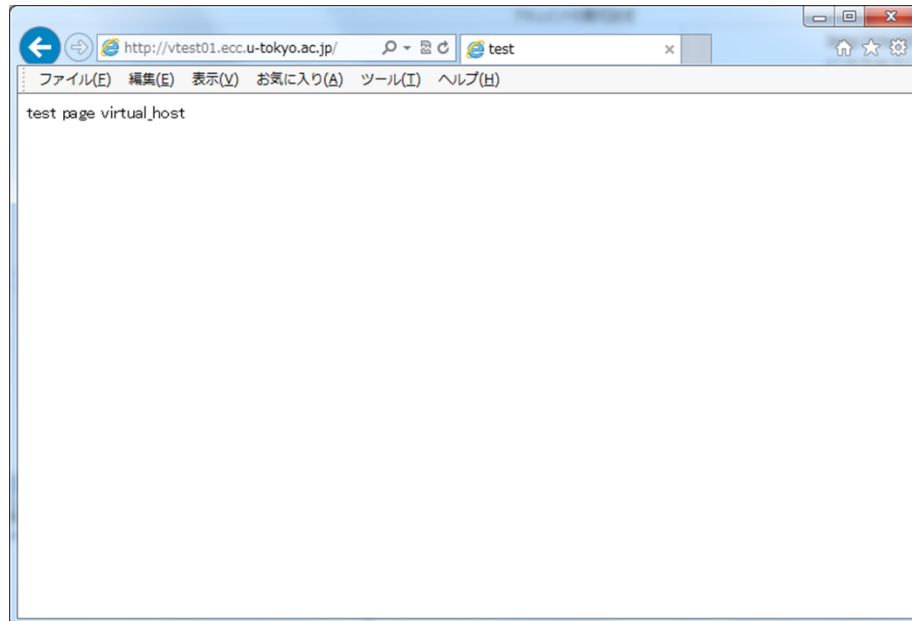
以下の図ではサーバコントロールパネルからファイルマネージャーを起動した画面です。右側空白エリアの右クリックからファイルを新規作成できます。また、ローカル PC からのアップロードも可能です。今回は手元の PC にメモ帳等で `index.html` を作成してアップロードしました。



ここに置いた `index.html` は「test page virtual_host」とだけ表示するシンプルな html ドキュメントです。

設置が終わったら Web ブラウザで

<http://www.vtest01.ecc.u-tokyo.ac.jp/>にアクセスして、実際に設置したトップページが表示されるか確認します。



問題無くトップページが表示されました。これで設定作業は完了です。

補足 1 :

本ガイドでは単一サイト（ドメイン）の仮想ホスト設定例を紹介しました。手順を単純化する都合上ドキュメントルートは /home/webparkNNNN/www/ に設定していますが、ドキュメントルートは www 配下の任意のディレクトリに設定していただいてもかまいません。特に複数のドメイン（マルチサイト）を運用される場合は、www 配下に適当なディレクトリを作成してそこをドキュメントルートに設定してください。

ディレクトリの作成にはサーバコントロールパネル内のファイルマネージャーが便利です。ファイルマネージャーの使用方法についてはヘルプ（下記サイト）をご参照ください。

<https://help.sakura.ad.jp/hc/ja/articles/206207001>

補足 2：

DNS 関連の情報については、WEB PARK WEB ページ「[FAQ・マニュアル](#)」でもご確認ください。

Q1: <http://www.xxx.yyy.u-tokyo.ac.jp/> という URL でウェブサイトを構築したいが、さくらインターネットのサーバコントロールパネルの「新しいドメイン追加」のページの「ドメイン名」には何を入力すれば良いですか？

A1: www.xxx.yyy.u-tokyo.ac.jp を入れることを推奨します。特に

- ・ [xxx.yyy.u-tokyo.ac.jp](http://www.xxx.yyy.u-tokyo.ac.jp/) というドメインを管理する DNS サーバが存在する
- ・ user1@xxx.yyy.u-tokyo.ac.jp のメールアドレスで、MailHosting など WEB PARK 以外のメールサービスを利用

といった場合は、必ず www.xxx.yyy.u-tokyo.ac.jp を入力してください。

なお、DNS に登録すべき内容については、Q2 をご参照ください。

Q2：仮想ホストを使う場合は DNS に何を登録すればよいですか？

A2：さくらインターネットのレンタルサーバのサービスにおいては、利用開始時から登録されている初期ドメインとは別に独自ドメインを追加する場合に相当します。

ただし、同一のホスト名(ドメイン名)で、MAILHOSTING 又は他のメールサーバをお使いの場合は Q3 をご参照下さい。

Q3：MAILHOSTING 又は他のメールサーバでメールアドレス（@ より右の文字列）として使っている xxx.yyy.u-tokyo.ac.jp を、WEB PARK の仮想ホスト名（仮想ドメイン）として利用できますか。利用できる場合はどのように DNS に登録すれば良いですか。

A3: 利用できますが、**あまり推奨しません。**

以下の例や、さくらインターネットのマニュアル「[【ドメイン設定】他社で取得・管理中のドメインを利用](#)」を参考に DNS 登録処理などをお願いいたします。

【例】xxx.yyy.u-tokyo.ac.jp を使う場合

さくらインターネットのマニュアル「[【ドメイン設定】他社で取得・管理中のドメインを利用](#)」では、yyy.u-tokyo.ac.jp の DNS サーバに xxx の NS レコードとしてさくらインターネットの 2 つの DNS サーバを登録することが推奨されています。

WEB PARK と他のメールサーバを使う場合は、NS レコードの変わりに以下の登録を DNS サーバ管理者に依頼してください。

・A レコードとして、利用サーバの IP アドレスを登録してください

(利用申請システムにおいて、ご利用のサーバ情報として表示されるホスト名より IP アドレスを nslookup コマンド等でご確認ください)。

参考：

[「サーバ情報の確認方法」](#)

[「**■自分の PC などアクセス制限を行っています。さくらインターネットで割り当てられたサーバの IP アドレスを許可したいのですが、許可する IP アドレスを教えてください**」](#)

・MX レコードとして、お使いのメールサーバのホスト名を登録してください。

なお、WEB PARK で利用しているさくらインターネットのレンタルサーバでは、登録した独自ドメイン宛のメールを受け取る機能が自動的に有効になり、これを無効にする方法がありません。

前記で示したように、上位ドメインの DNS サーバで MX レコードとしてお使いのメールサーバを登録することで、通常インターネット上から送られてくるメールはメールサーバに届きます。

しかし、お使いのサーバ上で動作する sendmail プログラムを用いたメール送信時には、そのメールが当該サーバ上に送られます。

例えば、メールフォーム（ウェブサーバにアクセスした利用者に対して問い合わせなどを

入力させ、その内容を管理者にメールで送信する仕組み) などの CGI では sendmail プログラムを使う場合があるため、メールが届かない場合があります。

補足 3 : NS レコードの登録について

WEB PARK のサービスでは、仮想ホストの利用にあたって NS レコードを DNS サーバに登録することを推奨します。一方技術的には、仮想ホストに対応するレンタルサーバの IP アドレスを A レコードとして登録することも可能です。

この点について、情報基盤センターとしての立場をご説明します。

レンタルサーバのサービスは、一式のハードウェア上の物理的なサーバを、仮想的に複数のレンタルサーバに分割することで実現されています。各レンタルサーバに割り振っている IP アドレスが、運用中に変更されたことがないとの報告をさくらインターネットから受けています。

しかし、メンテナンスなどの目的でレンタルサーバの IP アドレスを変更しないことが、将来に亘って保証されるものではありません。IP アドレスの変更は大きな影響があるため、何らかの事前連絡が行われるとセンターでは考えていますが、仮に連絡があったとしても A レコードで仮想ホストを利用する場合は、DNS サーバの登録内容の変更が多数発生する懸念があります。

このような状況を踏まえて、情報基盤センターでは原則としてさくらインターネットが標準的に示す NS レコードでの登録を推奨しています。

なお、「2.1 仮想ホスト名を含むホスト名やドメインを他の用途に利用する場合」で示したように、NS レコードの登録が WEB PARK 以外のサービスを利用できない場合や、上位ドメインの管理上のポリシーで NS レコードの登録ができない場合は、A レコードでご登録ください※。

※ レンタルサーバの IP アドレスが変更になった時、DNS の変更が必要になります